

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木234
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@jfpj.co.jp
購読料 1ヵ月 6,750円
©日刊木材新聞社 2025
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布
は、著作権の侵害にあたり違法です。

人の声、木の声届け
80年
創刊80年
木材建材ワイワリー
Japan Lumber Reports
電子版

東北に年10万坪超のプレカットグループ

マツモトが丸岩の株式取得で

マツモト(岩手県奥州市、松本裕一社長)は、同業の丸岩(同)の株式96%(10月20日時点)を取得し、グループ企業とした。今後、残りの4%も取得予定。松本社長が両社の社長を兼務する。一方、丸岩の社長やプレカット、パネル製作などの事業内容、雇用などは従来と変わらず、独立した会社として存続する。東北資本で、年間加工能力10万坪を超えるプレカットグループが誕生した。

両社の年間プレカット加工実績(前期)は、マツモトが6万3100坪(加工能力7

万2000坪)、丸岩が2万4000坪(同4万坪)。マツモトは大手ハウスメーカーを中心に注文住宅、建売住宅のプレカットを手掛け、丸岩は地域のビルダー、工務店を中心に受注しているため、顧客の重複はほとんどない。両社は近隣に立地していることから、ここ4、5年は繁忙期にマツモトが丸岩に外注加工を依頼する関係にあった。CADも同じシステムを使用していることで、データのやり取りに支障はない。一方、「両社の設備には違いがあり、加工品目によって能力に余剰があるところもあれば不足しているところもある。これらを調整して、より効率的な生産を実現しコスト削減につなげ、両社の顧客に還元していきたい」と思っている(松本社長)。また、マツモトは木材などの強い調達力で知られ、これもグ



マツモト本社。近隣に立地する丸岩と合わせ、緊急事態などでも2工場体制で対応できるようになる

で一定規模を持つプレカット企業がグループ化することで、それぞれの強みを生かしなが

ら、地域での基盤を固める。その一方で、松本社長は「丸岩はマツモトではやっていないパネル事業があるなど、両社の強みを生かしていくことで、さらなる事業の成長は可能だ」と思っている。いろいろな地域で戦える体制をつくっていく」と話す。

祖父江社長は「最近も4階建ての賃貸住宅で鉄骨造の計画を木造に替えて建築コストを抑えた事例があったが、木造4階建ては狭小地のアパートなどでコスト競争力を発揮できる。CAD入力、構造計算を効率化し、業界のチャレンジを後押ししたい」と話す。

ルート2の構造計算システム開発

木造4階建てに対応、プレカットまで一貫
ネットイーグル

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は非住宅木造プレカットCAD「XF15」のオプションである構造計算システム「NSC15」で、ルート2の構造計算(許容応力度等計算)に対応する。木造軸組工法で4階建てのニーズに対応するのが目的で、都市部のアパートなどの需要を想定している。10階建てまで入力できるXF15なら、木造4階建てのCAD入力、構造計算、プレカットを丸ごと一貫したデータで実行できる。ルート1のアドオンソフトとして11月に発売する。

建築基準法では、ルートの許容応力度計算が必要になる。許容応力度等計算の適用範囲は木造3階建てまでで、木造4階建てはルート2の許容、層間変形角、剛性

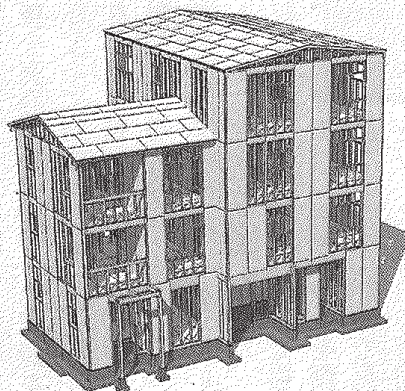
率、塔状比の検討が新たに求められるが、層間変形角や剛性率は従来の構造計算システムでも確認でき、計算そのものが複雑になるわけではない。

問題はシステムだ。木造軸組工法の設計指針となる日本住宅・木材技術センターの「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」(中大

計)「(グレース)が対象とするのは3階建てまでで、グレースに準拠する同社の構造計算システム(NSC15、NSC15 Xsta

r)をはじめ一般に流通する構造計算システムは3階建てが限度だった。だが、昨年10月に発売された「木造軸組工法中大規模建築物の許容応力度設計」(中大規模グレース)では、正形な建物については4階建てでも3階建ての延長で構造設計が可能との考え方が示されており、中大規模グレースを基に木造4階建てを建築するケースも

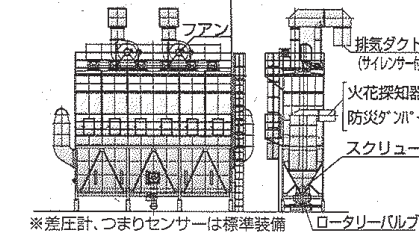
なくはない。ただ、4階建てを従来の構造計算システム



XF15で木造軸組工法4階建ての構造計算が可能になった

バグフィルター集塵機

省エネダクト等のオプション群も充実



大気テクノ株式会社

〒731-0135 広島市安佐南区長束 6-10-1
Tel (082)850-1616 Fax (082)850-2277

詳細はWEBで! 大気テクノ 検索